

一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

【注意事項】

1. 試験時間は、40分です。
2. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないでください。
3. 問題用紙は、表紙を含めて5枚です。
4. 問題用紙は、持ち帰らないでください。
5. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格になります。
6. 解答が終わり途中退室を希望される方は、挙手にて係員にお知らせください。
係員が試験問題等を回収した後、他の受験者の迷惑とならないよう静かに退出ください。

※携帯電話等の電源は他の受験者の迷惑となりますので、必ず電源をお切りください。

近畿運輸局

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について

- ・以下の各設問の()内に、関係法令を踏まえ、最も適切な語句を〔 〕から選択し、別紙の解答用紙に記入してください。

-
1. 一般旅客自動車運送事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、()に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。

〔A. 運行管理規程 B. 就業規則 C. 事業計画〕

2. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、安全や()の向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。

〔A. コンプライアンス B. 安心 C. 利用者サービス〕

3. 旅客自動車運送事業者は、()に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。

〔A. 乗務員等 B. 従業員 C. 運行管理者〕

4. 一般旅客自動車運送事業者は、()の変更をしようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

〔A. 運行計画 B. 事業計画 C. 運行回数〕

5. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を()しなければならない。

〔A. 常に清潔に保持 B. 可能な限り清潔に C. 運行のたびに清潔に〕

6. 旅客自動車運送事業者は、()以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。

〔A. 二月 B. 六月 C. 一年〕

7. 一般旅客自動車運送事業者は、営業所ごとに配置する事業用自動車の数の変更をしようとするときは、あらかじめ、()を国土交通大臣に届け出なければならない。

〔A. 事業計画変更事前届出 B. 運行計画変更事前届出 C. 業務計画変更事前届出〕

- 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを()保存しなければならない。
- 8.

[A. 一年間 B. 三年間 C. 五年間]

- 「旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7第1項の規定に基づき、旅客自動車運送事業者が公表すべき運輸の安全に関する事項(国土交通省告示第1089号)」において()については、公表すべき事項として定められていない。
- 9.

[A. 事務員の数 B. 輸送の安全に関する基本的な方針 C. 輸送の安全に関する目標の有無及びその達成状況]

- 自動車運送事業の用に供する自動車は()ごとに定期点検整備をしなければならない。
- 10.

[A. 三月 B. 六月 C. 一年]

- 旅客自動車運送事業者は、疾病、疲労、()状態にある乗務員等を事業用自動車に乗務させてはならない。
- 11.

[A. 運転が可能な B. 集中力が欠落した C. 酒気を帯びた]

- 自動車の()は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備することにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。
- 12.

[A. 所有者 B. 使用者 C. 運転者]

- 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に()。
- 13.

[A. 利用させてもよい B. 貸し渡してもよい C. 利用させてはならない]

- 一般旅客自動車運送事業の管理の委託及び受託については、国土交通大臣の()を受けなければならない。
- 14.

[A. 免許 B. 許可 C. 認可]

- 一般貸切旅客自動車運送事業は、点呼を行ったときは、その状況を録音及び録画(電話その他の方法により点呼を行う場合にあっては、録音のみ)して電磁的方法により記録媒体に記録し、かつ、その記録を()保存しなければならない。
- 15.

[A. 六十日間 B. 九十日間 C. 百二十日間]

16. 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故であり、死者又は重傷者を生じた場合は、電話、その他適当な方法により、() 以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。
[A. 十二時間 B. 二十四時間 C. 四十八時間]
-

17. 旅客自動車運送事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して() 保存しなければならない。
[A. 半年間 B. 一年間 C. 三年間]
-

18. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、乗務員等の氏名等の記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において() 保存しなければならない。
[A. 六ヶ月間 B. 一年間 C. 三年間]
-

19. 旅客自動車運送事業者は、天災その他の理由により輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車の() に対する必要な指示その他輸送の安全のための措置を講じなければならない。
[A. 乗務員等 B. 旅客 C. 車両]
-

20. 旅客自動車運送事業者は、() 以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けなければならない。
[A. 六十歳 B. 六十五歳 C. 七十歳]
-

21. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が非常信号用具、非常口又は消化器を備えたものであるときは、当該自動車の() に対し、これらの器具の取扱いについて適切な指導をしなければならない。
[A. 一般公衆 B. 乗務員等 C. 旅客]
-

22. 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の() を受けなければ、その効力を生じない。
[A. 許可 B. 認可 C. 承認]
-

23. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、主として運行する路線又は営業区域の状態及びこれに対処することができる運転技術並びに法令に定める() に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。
[A. 自動車の運転 B. 事業計画 C. 運行管理]
-

- 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第48条各号に掲げる()及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。
- 24.

[A. 業務の適確な実行 B. 点呼の実施 C. 乗務員等の研修]

- 一般貸切旅客自動車運送事業の運転者の1日の休息期間は、勤務終了後、継続11時間以上与えるよう努めることを基本とし、継続()を下回ってはならない。
- 25.

[A. 8時間 B. 9時間 C. 10時間]

- 一般貸切旅客自動車運送事業者は、()に運行指示書を作成しなければならない。
- 26.

[A. 運転者等ごと B. 車両ごと C. 運行ごと]

- 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、()ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。
- 27.

[A. 三年 B. 五年 C. 七年]

・以下の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を別紙の解答用紙に記入してください。

- 一般貸切旅客自動車運送事業者は営業所ごとに最低1名の運行管理者を選任する義務があるが、事業用自動車30両以上の営業所では、事業者の判断により運行管理者の数を増やす必要がある。
- 28.

- 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に少なくとも営業区域内の道路、地名、著名な建造物、公園、名所及び旧跡並びに鉄道の駅が明示された地図であつて地方運輸局長の指定する規格に適合するものを備えておかなければならない。
- 29.

- 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送を引き受けた場合には、当該運送の申込者の任意により、運送引受書を交付することができる。
- 30.
-

一般貸切旅客自動車運送事業の法令試験の解答用紙

申請者名

受験者名

採 点
点

(問題1～27は【A・B・C】のいずれかを記入してください。)

問題 1	問題 2	問題 3	問題 4	問題 5	問題 6	問題 7	問題 8	問題 9
C	C	B	B	A	A	A	B	A

問題 10	問題 11	問題 12	問題 13	問題 14	問題 15	問題 16	問題 17	問題 18
A	C	B	C	B	B	B	B	C

問題 19	問題 20	問題 21	問題 22	問題 23	問題 24	問題 25	問題 26	問題 27
A	B	B	B	A	A	B	C	B

(問題28～30は【O・×】のいずれかを記入してください。)

問題 28	問題 29	問題 30
×	×	×